

大阪教育大学 カリキュラム・マネジメント 手引き (概要版)

2023年(令和5)年3月

実践提供:大阪教育大学附属天王寺小学校
大阪教育大学附属天王寺中学校
大阪教育大学附属池田小学校

=手引きの構成=

<第1部 基本理論とコンセプト>

<第2部 実践・解説編>

<第3部 活用したい理論と先行事例>



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

=手引きの構成①=

<第1部 基本理論とコンセプト>

手引きで紹介する事例やその考察などの基本概念となるカリキュラム・マネジメントを学校全体で組織的に動かす意義, そのための考え方, 具体的な方法論を紹介します。

第1部 ダウンロードはこちら



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

=手引きの構成②=

<第2部 実践・解説編>

本学の3つの附属学校の取組について、カリキュラム・マネジメントの観点から問い直し、可能な限り客観的な評価を試みることで新たな価値を発見するとともに、そのプロセスを可視化することを目指してまとめています。

第2部 ダウンロードはこちら



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

= 手引きの構成③ =

< 第3部 活用したい理論と先行事例 >
手引きで紹介する事例をはじめとして、カリキュラム・マネジメントをより高いレベルで学校全体に実装するために有用な理論と先行事例を紹介します。

第3部 ダウンロードはこちら



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

=手引き(概要版)の使い方①=

○このような方のニーズに応えた内容です。

- ・新しい「○○教育」のカリキュラム開発を目指す
学校関係者
- ・働き方改革を目指す学校管理職
- ・カリキュラム・マネジメントを牽引する主幹教諭・
教務主任・研究主任等



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

=手引き(概要版)の使い方②=

○このような方のニーズに応えた内容です。

- ・授業改善を期するすべての教職員
- ・カリキュラム・マネジメントの実態を知りたい
大学生・大学院生
- ・教職大学院におけるカリキュラム・マネジメントの
授業担当者



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

=手引き(概要版)の使い方③=

○このような使い方ができます。

- ・詳細な内容について知りたい場合は
[「手引き」\(各ページのリンク先\)](#)をご覧ください。
- ・各学校の教育活動(第2部第1章：STEAM教育,
第2章：探究活動, 第3章：安全教育)の情報が
得られます。



=手引き(概要版)の使い方④=

○このような使い方ができます。

- ・文部科学省が提唱するカリキュラム・マネジメントの3要素(①教科横断, ②PDCAサイクル, ③リソースの活用)ごとに, 該当する内容の確認や活用ができます。



=カリキュラム・マネジメントとは①=

中教審答申 平成28年12月21日 「幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」より

教育課程とは, 学校教育の目的や目標を達成するために, 教育の内容を子供の心身の発達に応じ, 授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画であり, その編成主体は各学校である。

=カリキュラム・マネジメントとは②=

各学校には、学習指導要領等を受け止めつつ、子供たちの姿や地域の実情等を踏まえて、各学校が設定する学校教育目標を実現するために、学習指導要領等に基づき教育課程を編成し、それを実施・評価し改善していくことが求められる。これが、いわゆる「**カリキュラム・マネジメント**」である。

=カリキュラム・マネジメントとは③=

学習指導要領 より

(平成 29 年告示 小学校 第1章総則 第1の4)

各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(以下「カリキュラム・マネジメント」という。)に努めるものとする。

=カリキュラム・マネジメントとは④=

児童や学校，地域の実態を適切に把握し，教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと，教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと，教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して，教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと

=カリキュラム・マネジメントとは⑤=

児童や学校，地域の実態を適切に把握し，教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと

要素①

教育目標実現のための教科横断的な視点

=カリキュラム・マネジメントとは⑥=

教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと

要素②

教育課程のPDCAサイクル

=カリキュラム・マネジメントとは⑦=

教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

要素③

リソースの活用(確保と改善)

要素①

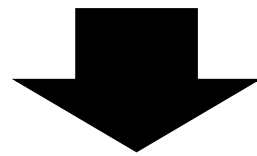
教育目標実現のための教科横断的な視点

要素②

教育課程のPDCAサイクル

要素③

リソースの活用(確保と改善)



教育課程に基づき組織的かつ計画的に
各学校の教育活動の質の向上を図る

第1部 基本理論とコンセプトの紹介

カリキュラム・マネジメントに
おける基本理論とコンセプト

第1部 ダウンロードはこちら



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第1部 第1章

第1部 ダウンロードはこちら

マネジメントサイクルにおける省察

第2章

組織体制・学校文化づくりと リーダーシップ

第3章

リソースの調達・活用と タイムマネジメント

TOPへ
戻る



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第1部 第1章

ダウンロードはこちら

マネジメントサイクルにおける省察

評価・改善はカリキュラムマネジメントの鍵である。複数のマネジメント・サイクルを紹介するとともに、「機械的な作業」から脱却し、「省察と開発の営み」への進化をめざす。

keywords: 学びのマネジメント, 評価, 省察

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第1部 第1章

ダウンロードはこちら

マネジメントサイクルにおける省察

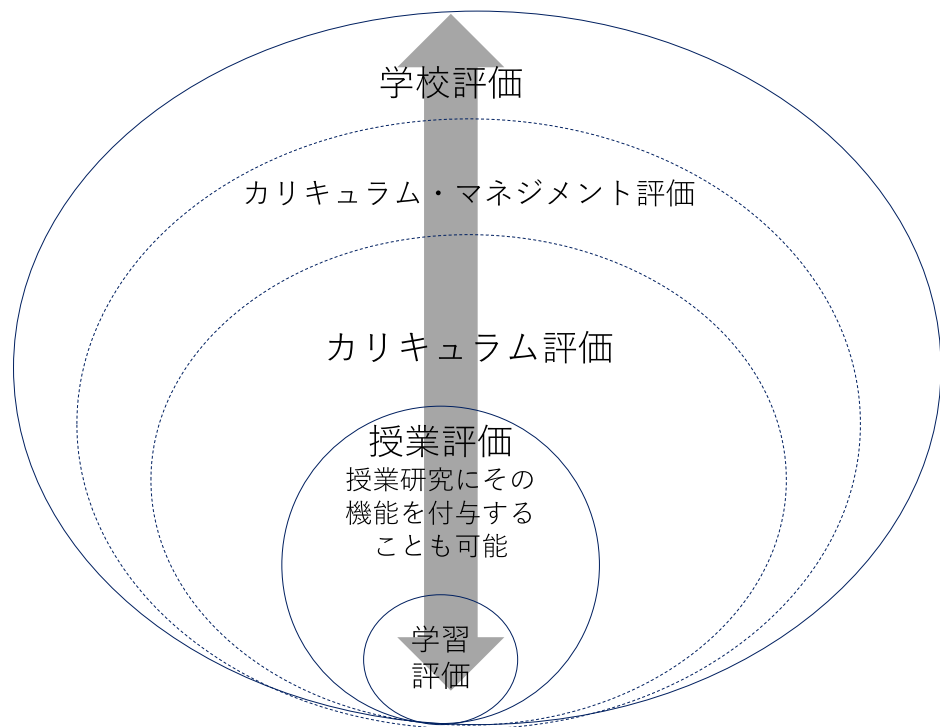


図1-1
カリキュラムマネジメントに連動する評価の構造(p.8)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第1部 第2章

[ダウンロードはこちら](#)

組織体制・学校文化づくりと リーダーシップ

マネジメントサイクルの循環を支える経営的側面(学校運営体制, 学校文化, リーダーシップ)に注視し, 組織的で協働的な取組としてどう進めればよいのかを考察する。

*keywords:*カリキュラムマネジメント・モデル, 組織構造,
学校文化

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第1部 第2章

ダウンロードはこちら

組織体制・学校文化づくりと リーダーシップ

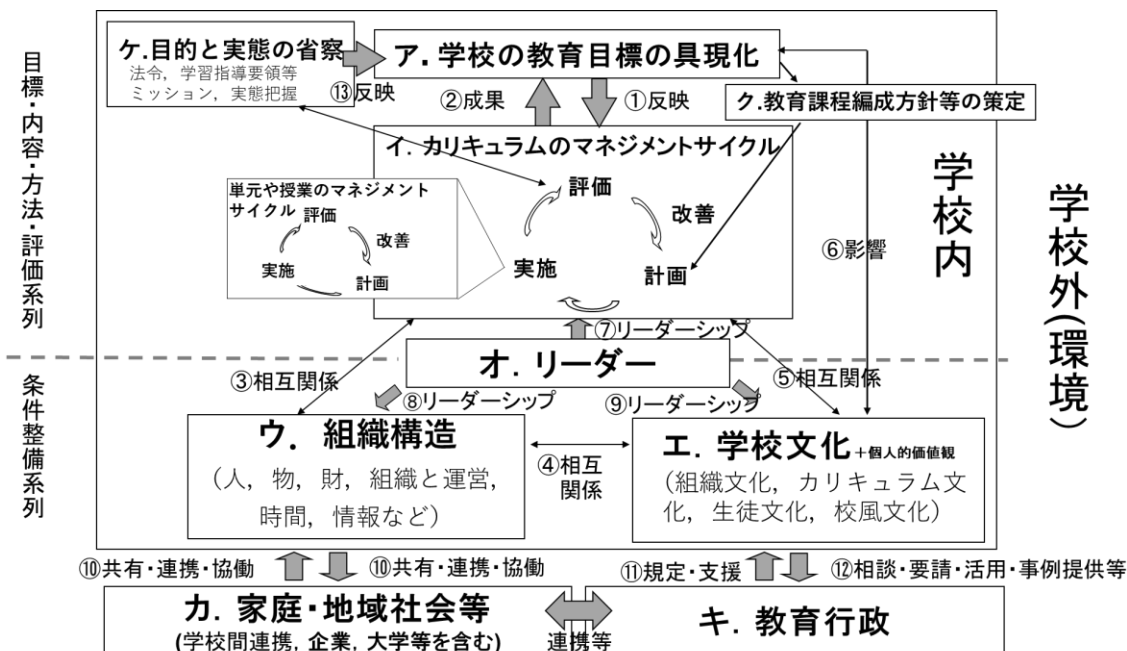


図1-2
カリキュラムマネジメント・モデル(p.20)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第1部 第3章

[ダウンロードはこちら](#)

リソースの調達・活用と タイムマネジメント

3校におけるリソース・マネジメントの事例を紹介するとともに、リソースを活用したカリキュラム・マネジメントのあり方を提案する。

keywords: リソースの活用, 人・モノ・カネ・情報, 学校経営

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 実践・解説編

基本理論とコンセプトを活用した 実践事例の特徴と課題

第2部 ダウンロードはこちら



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第1章

第2部 ダウンロードはこちら

STEAM教育の実践・解説

<天王寺小学校>

第2章

探究活動の実践・解説

<天王寺中学校>

第3章

安全教育の実践・解説

<池田小学校>

TOPへ
戻る



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 はじめに

第2部 ダウンロードはこちら

実践のみどころと各学校のカリマネの実践の着目点

- ①各学校が編成した教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ること
- ②全教職員で組織的に学校教育目標の実現を目指すこと
- ③教科横断的な視点で教育目標達成に必要な教育内容を組織的に配列していくこと
- ④教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルを確立すること
- ⑤教育課程実施に必要な人的・物的な資源を活用する体制を確保すること

第2部 はじめに

第2部 ダウンロードはこちら

実践校① 【第2部第1章】

第2部第1章
ダウンロードはこちら

大阪教育大学附属天王寺小学校

学習の基盤となる資質・能力と深く関わるSTEAM教育のカリキュラム開発に取り組んでいる。「教科」の個人的な研究から、「教科等横断的」な組織的な研究へと変容させるために、組織構造や学校文化の見直しに着手し、マネジメントサイクルを循環させるための条件整備を展開した点に着目したい。

第2部 はじめに

第2部 ダウンロードはこちら

実践校② 【第2部第2章】

大阪教育大学附属天王寺中学校

第2部第2章
ダウンロードはこちら

通年に近い形でゼミに所属し、指導教員の個別指導を受けながら生徒が主体的な探究活動を行う「自由研究」に取り組んでいる。その歴史は長く、現在のカリキュラムにおける実践までには、幾度となく見直しが行なわれている。カリキュラム改善の重要な手法であるカリキュラム評価に迫る。

第2部 はじめに

第2部 ダウンロードはこちら

実践校③ 【第2部第3章】

大阪教育大学附属池田小学校

第2部第3章
ダウンロードはこちら

文部科学省教育課程特例校の指定を受けた特別な教育課程である「安全科」を設け、全学年を対象に安全教育プログラムを構築・実践している。当時は各学年年間35時間実施され、教科内容との重複が課題となっていたが、15～16時間程度に指導時間を厳選し学習内容を充実させた。今後安全教育充実に向けたカリキュラム構築への道標となるであろう。

第2部 第1章

[ダウンロードはこちら](#)

STEAM教育の実践・解説

(実践編)

◆カリキュラム・マネジメントを促進する環境改善，
意識改革

対象:働き方改革を目指す管理職，カリキュラム・マ
ネジメントを牽引する教務主任

keywords:働き方改革, 職員室文化, 校内組織再編

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第1章

STEAM教育の実践・解説

ダウンロードはこちら

<組織改編>

従来(2019年)	
部会名	人数
国語部	6
社会部	2
算数部	6
理科部	2
音楽部	1
家庭科部	2
体育部	2
外国語部	1
生活・総合部	1



再編後(2020年)	
部会名	人数
言語教育部(国語-外国語)	5
社総部(社会-総合・生活)	4
数理部(算数-理科)	8
芸術部(音楽-図工)	1
実践教育部(家庭科-体育-養護教諭-栄養教諭)	6

再編にあたり、これまで教科部会に位置付けていなかった養護教諭と栄養教諭も「実践教育部」の部員として位置づけた。

表2-2
校内研究組織の再編
(p.62)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第1章

STEAM教育の実践・解説

ダウンロードはこちら

<方策>

月	取組内容								
4月	○STEAM 教育研修【PLAN】								
5月	新転任教員を含む, 教員全体で STEAM 教育を理解するため, 研究部より昨年度研究の成果と意義を説明するとともに, 「OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来(ミネルバ書房)」「令和の日本型学校教育の構築を目指して(文部科学省)」を課題図書とし, そのねらいや実践上の課題について検討した。STEAM 教育の観点から年間カリキュラムを再考するために, 各領域部会において教科横断的な活動, 現代的な諸課題に関わる活動を検討し, 以下7つの活動を新たに計画し, 年間カリキュラムに位置付けた。 <table border="1"><tbody><tr><td>トリオタイム</td><td>読み書きタイム</td><td>算・プロタイム</td><td>出前授業年間計画</td></tr><tr><td>畑栽培計画</td><td>スポーツウイーク</td><td>アートウイーク</td><td></td></tr></tbody></table>	トリオタイム	読み書きタイム	算・プロタイム	出前授業年間計画	畑栽培計画	スポーツウイーク	アートウイーク	
トリオタイム	読み書きタイム	算・プロタイム	出前授業年間計画						
畑栽培計画	スポーツウイーク	アートウイーク							

表2-4
令和3年度研究での
PDCAサイクルの実際
(p.72-73)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第1章

[ダウンロードはこちら](#)

STEAM教育の実践・解説

(解説編)

附属天王寺小学校の「STEAM教育の実現を目指したカリキュラム開発」の一成果であるチャレンジデーを取り上げ、参観した大学教員の視点から“教育研究としての芽”を紹介する。

keywords:チャレンジデー, STEAM教育, コンセプトシート

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第1章

ダウンロードはこちら

STEAM教育の実践・解説

表2-5

当日の時間割(チャレンジされる授業) (p.75)

	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生		
	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組
3時間目			国語		国語		外国語	音楽	社会	総合	理科	体育				算数	家庭科	総合
4時間目						生活	音楽	社会	外国語	総合	外国語	理科	算数	社会	体育	総合	算数	家庭科
5時間目	国語		国語		国語		社会	外国語	算数	理科	総合	外国語	社会	体育	算数		総合	音楽
6時間目								保健		外国語	総合		体育	算数	社会	音楽		算数

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第1章

STEAM教育の実践・解説

ダウンロードはこちら

表2-6 先生方のチャレンジの内容(p.75)

授業テーマ	アプローチ	教科横断する内容	育成される資質能力
1年生 かくれんぼめいじんをみつけよう	インタ-アプロ-チ国語「うみのかくれんぼ」 生活「生きもの大すき」 体育「ひょうげんあそび」 図画工作 絵や立体、工作に表す活動		事柄の順序に理解して、調べたことを人に説明できる。 生き物探しを通して身の回りの自然や生き物に関する気付く、生き物の生活を季節や場所と関連付けられる。 身体を使った表現によって、他者に伝えることができる。 生き物の隠れ方によって、色や形などを工夫し表現することができる。
「ふてんしょうのかくれんぼ」しかげずかんをつくる	インタ-アプロ-チ国語「うみのかくれんぼ」 生活「みぢかなしぜんやいきものをかんさつしよう」 図画工作「クレヨンやえのぐをつかってしかげずかんをつくらう」		事柄の順序を理解して、オリジナル説明文に表現できる。 生き物探しを通して身の回りの自然や生き物に関する気付く、生き物の生活を季節や場所と関連付けることができる。 生き物の隠れ方によって、色や形などを工夫し表現することができる。
2年生 秋のおもちゃまつりをしよう	テーマアプローチ 生活「せかいでひとつ わたしのおもちゃ」 音楽「おまつりの音楽」 国語「せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう」		他者と交流したり、関わりあったりできる。おもちゃ作りに必要な技能が身についている。 音楽に対する感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出すことができる。 順序を考えながら、他者に伝わる構成の文章を表現できる。

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第2章

[ダウンロードはこちら](#)

探究活動の実践・解説

(実践編)

◆カリキュラム変更に伴う自由研究の指導体制の構築について

対象:探究活動の推進を目指す管理職, カリキュラム・マネジメントを牽引する教務主任

keywords: 探究的学習, 教科横断型, 思考と一体化した表現

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第2章

探究活動の実践・解説

ダウンロードはこちら

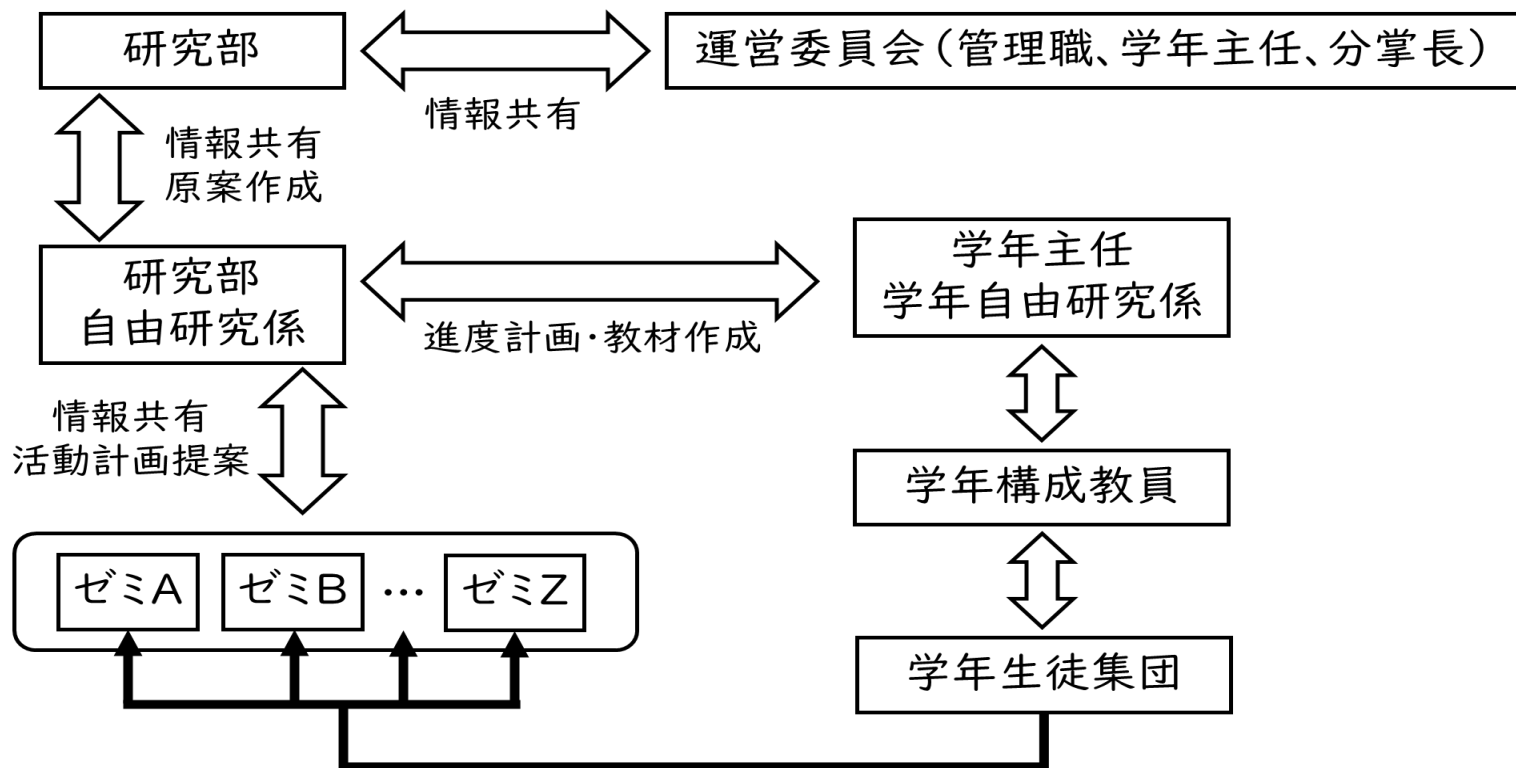


図2-4
自由研究推進のための
教員の分掌と相互
関連(2021年度版)
(p.95)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第2章

探究活動の実践・解説

[ダウンロードはこちら](#)

(解説編)

附属天王寺中学校の「自由研究」実践を，生徒のアンケート及びインタビューから評価し，成果や課題を明らかにする。

keywords:自由研究, 評価, 主体的な問題解決

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第2章

探究活動の実践・解説

ダウンロードはこちら

大カテゴリ	小カテゴリ	出現数
研究の各段階を進めるスキル		140
	計画性	37
	コンピューター活用スキル	10
	問題設定し研究を計画する	23
	情報探索し必要な知識を得る	37
	実験・調査を行う	22
	より良い実験・調査結果を得る	7
	結果から考察する	4

表2-7
自由記述調査で得られた記述のカテゴリと出現数一覧
(p.101)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第2章

[ダウンロードはこちら](#)

探究活動の実践・解説

【特記事項】

附属天王寺中学校は、探究学習として「自由研究」に70年以上取り組んできた。

その教育的な意義は以下の2点である。

- ①問題を見出し、研究テーマを決定し、自分で企画し、研究することによって、計画性・継続性・創造性を養うこと

第2部 第2章

ダウンロードはこちら

探究活動の実践・解説

【特記事項】

- ②自分の研究成果を発表したり, 他の発表を聞いたりすることによって, 発表の技術と発表を聞く態度を向上させること

また, 1年次には, テーマ設定(研究計画書作成), 2年次には, 実験・調査⇒発表⇒修正, 3年次には, 論文執筆を行っている。

第2部 第3章

安全教育の実践・解説

[ダウンロードはこちら](#)

(実践編)

現在行っている教育内容を安全教育の視点で抽出し、各学年で年間の計画に並べてみることからスタートした。

keywords: 社会状況に適応した安全教育,
各教科等の内容との連携, 実感を伴った理解

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第3章

安全教育の実践・解説

[ダウンロードはこちら](#)

(実践編)

対象:カリキュラム・マネジメントを牽引する教務主任
カリキュラムを創ろうとしている教員
カリキュラムを改善しようとしている教員

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第3章

安全教育の実践・解説

[ダウンロードはこちら](#)

(実践編)

◆取り組みのプロセス(要素①)

→安全に対することを教科から切り離して，教科と分けたもの。(プロセス)

→カリキュラムの行き来(要素②)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第3章 安全教育の実践・解説

ダウンロードはこちら

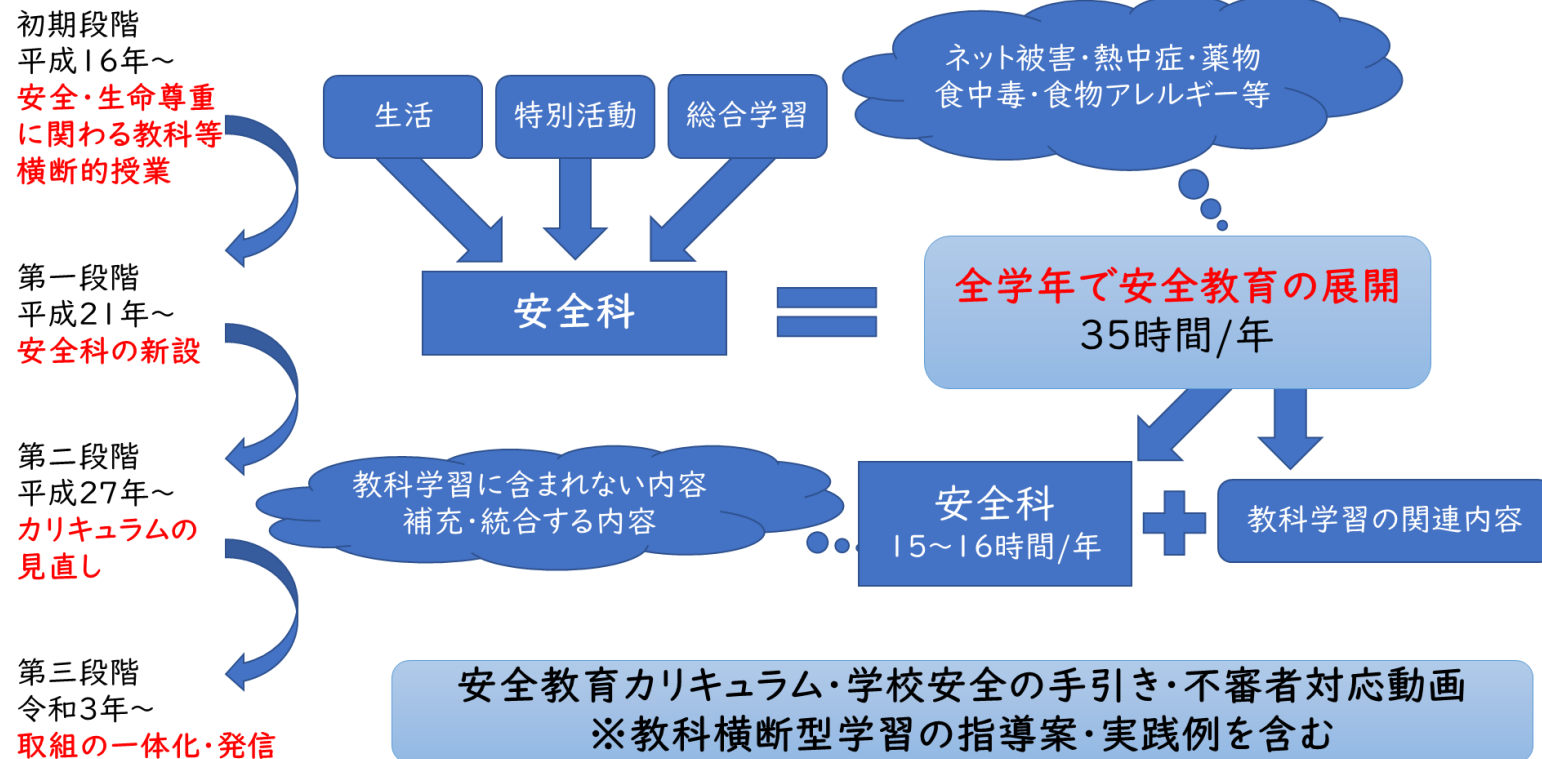


図2-7
「安全教育」のカリキュラム・マネジメント【取り組みのプロセス】(p.116)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第3章

安全教育の実践・解説

[ダウンロードはこちら](#)

(解説編)

安全教育においてカリキュラム・マネジメントを行う際に、安全科と他教科の間で実践レベルにおいて意識すべきことについて検討する。

keywords:安全科, 教科横断, カリキュラムと単元構想

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第3章 安全教育の実践・解説

ダウンロードはこちら

■安全科カリキュラム 年間計画表

★は他教科と連携しながら取り扱うもの

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	交通安全教室 ★校舎内の歩き方【生】	校内での安全について	通学路の安全チェック ネットリテラシーを身に付ける	自転車の運転 交通事故の防止	授業とけが①(理科・図工・家庭) ★授業とけが②(調理実習)【家】	身近な人の命を救う(救命措置) ★可燃物を知る【理】
5月	★2年生と一緒に学校探検【生】	★1年生と一緒に学校探検【生】 校内の安全設備を知ろう	自転車の運転(交通ルール)	けがの程度と119番通報 インターネットとさまざまな被害	自転車の運転(加害者にならないために)	感電 安全対策と対処法 ネットと社会①(ネット依存)
6月	★安全な学校生活(施設・設備)【生】 ★安全な学校生活(人)【生】 ★水と仲良く(プール水泳)【体】	校内の安全設備を調べよう 校内の安全マップをつくらう	6月8日 折りと驚いのついで 安全授業(新規授業の提案 もしくは 当該学年の内容から選択) シートベルトとチャイルドシート 水と仲良く(野外での水遊び)	豪雨と避難 水難事故を減らそう(データから考える)	ゲリラ豪雨への対応 ★大雨からまちを守る人々と技術【社・理】 水難事故について考える	ネットと社会②(ネットと犯罪) ネットと社会③(キャッシュレス社会) 性情報への対処
7月	★安全な学校生活(インタビュー)【生】 ★学校安全クイズをつくらう【生】	★着衣泳(水の怖さを知る)【体】 水と仲良く(家庭内での水の事故) 命を守る行動	命を守る①(犯罪機会論の観点)	★着衣泳(泳ぐ技術を身に付ける)【体】 熱中症を防ぐ	台風への対応(野外活動中の対応) 落雷の発生と被害 ★熱中症の手当て【保】	過去の台風に学ぶ ★身近な人の命を救う【体】 (溺れた人の助け方・着衣泳で)
9月	交通事故の現状 交通事故が起きやすい場所	交通ルール①(実体験から考える) 交通ルール②(交通事故事例から考える)	命を守る②(危険な場所を考える)	台風と避難(接近・上陸) 竜巻の発生と被害	★台風の進路と被害【理】 ★食の安全を考える【家】 危険生物 安全対策と対処法	★酸とアルカリ【理】 快速で安全なサイクリング 交通事故が起りにくくまじづくり
10月	安全な歩き方①(道路) 安全な歩き方②(横断歩道)	安全な歩き方③(すれ違い) 安全な歩き方④(危険の予測)	安全マップ①(安全・危険の観点) 安全マップ②(4視点で危険予測)	命を守るしくみ①(防犯ブザー) 命を守るしくみ②(まちの防犯設備)	情報発信のマナー	★地震の発生メカニズムと被害【理】 ★津波の発生メカニズムと被害【理】 ★噴火の発生メカニズムと被害【理】
11月	感染症①(手の洗い方) 保健室の利用 公共交通機関のルール・マナー	感染症②(手の洗い方 ふたたび) 個人情報を守るために	感染症③(マスクの効用) 安全マップ③(フィールドワーク) 安全マップ④(マップをつくらう) ★消防のしくみ①(消防施設や設備)【社】	感染症④(さまざまな感染症と予防法)	感染症⑤(感染症と病原体) 性被害と性加害	感染症⑥(ハンデミックを防ぐ) 火山現象と噴火警戒レベル
12月	安全を守ってくれる人・もの(通学路) 火災を知る	火災から身を守る(避難の方法) 校舎内での大きなけが	★消防のしくみ②(消防署の見学)【社】 安全マップ⑤(情報発信) 私たちの学級のけが	校内の防火・消火設備	転落事故の防止	★薬物・酒・たばこ①(体への悪影響)【保】 薬物・酒・たばこ②(乱用を防ぐには)
1月	地震と避難(発生時の安全確保) IDとパスワード管理	地震と避難(緊急地震速報)	地震への備え	地震への対応(外出先での対応)	地震への対応(山・海での対応)	避難場所での生活と復興
2月	自分の身を守る行動 公園や建物の中での行動	ルール・マナー 守る方法を考える ルール・マナー 考えたことを発信する	火災を防ぐ	性被害の防止と対処	★スポーツとけが【保・体】 ★手当の方法の理解と実習【保】 噴火と避難	安全な校内づくりの提案をしよう
3月				津波と避難	津波 予報・警報の種類 ★自然災害とわたしたちの社会【社】	★SDGsを達成するために【社・理】
安全科時間数	14	17	16	16	14	14
他教科連動時間数	7	2	2	1	8	8
合計	21	19	18	17	22	22

付録A
安全科カリキュラム
年間計画表
(p.148)

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第2部 第4章 まとめ

[ダウンロードはこちら](#)

附属3校(天王寺小学校・天王寺中学校・池田小学校)の実践から,カリキュラム・マネジメントが有効に働く要因を検証する。

keywords: マネジメントサイクル, 条件環境整備,
「学校教育目標」と「授業」

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部

活用したい理論と先行事例

カリキュラム・マネジメントで
活用したい理論と先行事例



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第1章

第3部 ダウンロードはこちら

カリキュラム・マネジメントで 活用したい主要理論とその応用

< 教科横断的な視点(STEAM教育) >

第1節 STEAM教育

TOPへ
戻る



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第1章

第3部 ダウンロードはこちら

<自由研究>

第2節

自由研究とOECDラーニング・コンパス

第3節

自由研究における「論理力」及び 「表現力」指導の展望

TOPへ
戻る



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第1章

第3部 ダウンロードはこちら

<問題解決的な学習>

第4節

問題解決的な学習の在り方

TOPへ
戻る



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第2章

第3部 ダウンロードはこちら

カリキュラム・マネジメントの視点から 考える先行事例と事例開発の枠組み

第1節

カリキュラム・マネジメントの視点から 考える学校と地域の連携・協働のあり方

第2節

音楽科とSTEAM 教育

TOPへ
戻る



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第1章 第1節 STEAM教育

[ダウンロードはこちら](#)

<教科横断的な視点(STEAM教育)>
STEAM教育の概要, 日本でSTEAM教育が求められる理由, 及びその実現のためのカリキュラム・マネジメントについて附属天王寺小学校を例に述べた。

keywords: STEAM教育, 教科等横断的学習, 資質・能力

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第1章 第2節

[ダウンロードはこちら](#)

自由研究とOECDラーニング・コンパス

<自由研究>

自由研究とOECDラーニング・コンパスや総合的な学習の時間との関連性について述べた。

*keywords:*生徒エージェント、共同エージェント、
コンピテンシー

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第1章 第3節

[ダウンロードはこちら](#)

自由研究における「論理力」及び 「表現力」指導の展望

<自由研究>

自由研究における学習者の困難の分析

keywords:自由研究, 探究学習, 論理的思考

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第1章 第4節

[ダウンロードはこちら](#)

問題解決的な学習の在り方

<問題解決的な学習>

生徒が主体的に問題解決を行う上で、活動をいかなる視点で見取り支援するかを3つの問題解決モデルから論じる。

keywords: STEAM教育, 教科等横断的学習, 資質・能力

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第2章 第1節

[ダウンロードはこちら](#)

カリキュラム・マネジメントの視点から 考える学校と地域の連携・協働のあり方

子どもたちの学びと成長を支える地域の基盤を再構築することに向けた、学校と地域の連携・協働のあり方を、カリキュラム・マネジメントの視点から先進事例とともに紹介する。

*keywords:*学校と地域の協働, パートナーシップ,
コミュニティ・スクール

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

第3部 第2章 第2節 音楽科とSTEAM 教育

[ダウンロードはこちら](#)

音楽科の教科横断的な教育の可能性

keywords:音感, 読譜, 表現

TOPへ
戻る

要素①

要素②

要素③



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY